



2021 年度  
第 43 号

# 体育市民連帯 ニュースレター

大韓民国スポーツの

根本的変化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？

女性後輩  
気絶するまで殴った  
卑劣な乗馬選手たち



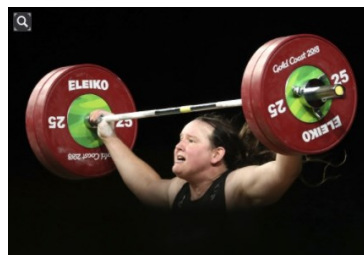
大韓航空卓球チーム  
嫌がらせ事件  
... スポーツ倫理センター  
「加害者重懲戒」通知



教育部と7つの自治体  
スケート選手人権  
保護方案勧告受け入れず



性転換選手ホルモンの  
数値基準なくす  
... IOC 新勧告発表



補助金数千万ウォンを  
横領して違法賭博  
... 30代体育会職員  
2審でも実刑



## 01 ザファクト 2021.11.17

「ビンタを食らわされたくらいで事を大きくして」…

## 女性後輩気絶するまで殴った卑劣な乗馬選手たち



今年初めに「故崔スクヒョン法」施行令改正案が審議議決され、体育界人権保護対策を強化する中、再び慢性的な「体育界暴行事件」が発生して衝撃だ。

MBCは「挨拶が正しくない」という理由で全国乗馬大会を一日控えた女子後輩選手を男子乗馬選手が暴行したと16日報道した。報道による

と、暴行事件は全国段位乗馬大会を一日あとに控えた時点の去る12日夜、慶北尚州<sup>サンジュ</sup>のモーター駐車場で行われた。

この日公開されたCCTV映像資料には男子乗馬選手A氏(20)が後輩である女子乗馬選手Bさんの首を強く殴った後、胸ぐらをつかんで頬を殴る場面が映っている。

その後、彼らはBさんを押し倒してから腹を足で蹴り、他の選手3人が駐車場に来てBさんの状態を調べた後、Bさんを起こして立ててモーターの部屋に移した。当時、彼らは皆、酒を飲んだ状態だったと伝えられた。

気絶した後、正気を取り戻したBさんは「先輩たちが2時間の間モーター部屋で“大したことじゃないからそのままにしよう”と圧力をかけた」とし「暴行を受けた理由は“A氏にきちんと挨拶をしなかったから”と言った」と主張した。

以後マスコミの取材が始まると、暴行3日後にA氏はBさんに謝罪文を送った。A氏は「本当に申し訳ない。とても後悔している。まだまだたくさん反省中で後悔中」とし「君さえ大丈夫なら君のいる所に行って直接顔を見て心から謝罪したい」という意を明らかにした。

また、暴行現場を訪れた他の先輩選手たちは「強制的に部屋に連れて行ったわけではない」とし「和解させようとした」と釈明した。

Bさんは事件の衝撃で翌日大会出場を放棄したが、加害選手と先輩たちは大会に正常出場した。

結局、被害者側コーチが加害者側コーチに問題を提起すると、加害者側コーチは「小娘に一つビンタし、ひとつ殴ったことで事を大きくして、ふざけて一発殴ったって何だ、XX勝手にしろ」と罵倒したことが分かった。

Bさんは「何度も怒鳴りながら、“やっ起きろ！死んだふりするな、起きろ”と言って「力が抜けた私をただ物を掴むように荷物を運ぶようにしたのが感じられて見られるのが悲しくて恥ずかしかった」と当時の惨憺たる心境を告白した。。

警察は該当事件に対する捜査に着手し、文化体育観光部傘下スポーツ倫理センターは被害選手の心理治療と暴行に対する調査を並行している。

出典：<http://news.tf.co.kr/read/national/1900116.htm>

## 02 アジアタイムズ 2021.11.19

### 「大韓航空卓球チーム嫌がらせ事件」

#### …スポーツ倫理センター「加害者重懲戒」通知



大韓航空卓球チームの集団嫌がらせ事件を調査したスポーツ倫理センターが最近、該当事件について大部分事実と認め、文化体育観光部と済州特別自治道体育会（以下済州体育会）に加害者を懲戒するよう通知した事実が確認された。

該当事件は去る5月、本誌が被害選手A氏と会って「大韓航空卓球チーム嫌がらせ」という内容で集中報道した。以後、スポーツ倫理センターが調査に着手し、先月20日、該当事件が暴力に該当する人権侵害事実として認められたと事件処理の結果を通知した。先に球団側は「事実無根」としたが、いじめと暴力は事実だったものだ。

問題は通知されてから一ヶ月が過ぎたが該当機関が加害者を懲戒していないという点だ。そうしている間、被害選手は依然として暴行と暴言を加えた加害選手と一つの空間で訓練をしている。ちなみに大韓航空卓球チームは済州体育会に所属している。

19日、アジアタイムズが入手したスポーツ倫理センターの「事件処理結果通知書(大韓航空卓球選手集団嫌がらせ)」によると、倫理センターは加害者として指摘された選手たちについて「大韓航空卓球選手B氏の暴行、暴言、私生活統制、身体の自由侵害行為と別の加害選手C氏の暴力行為は、済州特別自治道体育会「スポーツ公正委員会規定」第25条1項3号「暴力」に該当する人権侵害事実と認められる」と結論付けた。

また、倫理センターは被害選手を保護せず、長期間訓練を排除させ不当な措置を取ったコーチと監督に対しても「体育人綱領」3条、7条、12条に違反する行為とし、「スポーツ公正委員会規定25条、1項6号「体育人としての品位をひどく毀損した場合に該当すると決定した。

ただし、別の加害選手として指名されたD選手については、事実を認める客観的証拠が不足すると判断し、事実として認めなかった。

これにより、倫理センターは文化体育観光部長官に済州体育会がB選手とC選手に重懲戒を、コーチと監督には懲戒を要請した。続いて大韓航空スポーツ団に暴力などに対する予防及び保護措置を設けることと、大韓航空所属選手及び指導者、関係者を対象に倫理センターが主管する人権教育を実施するよう勧告した。

しかし、該当事件が決定してから一ヶ月が過ぎたが、依然として加害選手たちとコーチ、監督に対して懲戒処理がされていない。

済州体育会は本誌が関連内容について取材に入ると、18日大韓体育会から通知されたと主張し、手続きに従って措置すると答えた。

済州体育会の関係者は前日に記者と通話で「私たちも今日(18日)大韓体育会から該当内容を通知された」とし「近いうちに手続き通りスポーツ公正委案件を上げて措置する」と話した。

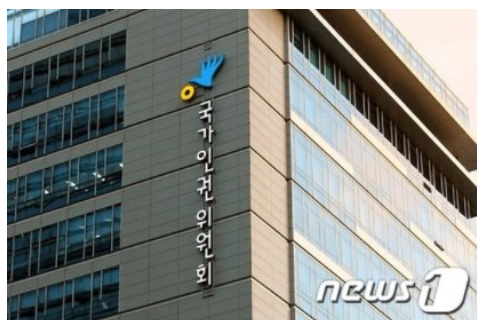
この関係者はすでに懲戒が決定された事案ではないかという記者の質問に「関連規定により、どの懲戒を下すか会議をしなければならない」とし「決定された後にお知らせする」と付け加えた。

一方、大韓航空卓球チーム嫌がらせ事件は被害選手 A さんが入団から約 1 年間、加害選手たちに嫌がらせ（暴行・暴言）といじめ、監視された事件だ。以後これに堪えかねた A さんが今年 2 月 5 日明け方に外出し、コーチと監督は該当事案に対して勤務怠慢及び無断離脱と問題とし、会社の懲戒手続きなしに 3 ヶ月以上にわたる不当な謹慎処分（訓練排除）をして問題になった。

出典：<https://www.asiatime.co.kr/article/20211118500350>

### 03 ニュース 1 2021. 11. 19

#### 教育部と 7 つの自治体「スケート選手人権保護方案勧告受け入れず」



教育部が国家人権委員会が勧告したスケート種目運動選手の人権保護と増進のための政策改善案を受け入れていない事が把握された。

人権委は 18 日、第 37 次常任委員会を開き、教育部が児童と青少年の学校外体育活動に関連した人権保護案を設けるように、という人権委の勧告を受け入れていないと判断した。

相次ぐ体育界の性暴力論議に人権委はスポーツ人権特別調査団を設置し、国家代表コーチによるスケート種目選手への性暴力事件をきっかけにスケート種目特別調査を実施し、関連機関に人権保護対策の策定を勧告した。

去る 4 月、人権委は教育部長官に学園法上の「課外教育」に体育教習行為が含まれるように法改正を推進するなど、児童と青少年の学校外体育活動に関連した人権保護案を設けるよう勧告した。

学校外の個人コーチに対する管理・監督不在もスケート種目人権状況の重要な要因と判断したためだ。

だが、教育部は人権委の学園法改正で課外教習に体育教習を含めろという勧告に、体育施設法で管理するのが妥当だという立場を伝えた。

ソン・ドゥファン人権委員長は「体育施設法は趣旨自体が体育施設の設置維持管理運営過程で安全問題が発生しないように維持管理することに焦点を置いて作られており、内容もその範囲を出ないと判断する」と遺憾の意を表した。

人権委は、スケート場を所有する 22 の地方自治団体にも、スケート場で発生する暴力・性暴力など人権侵害の予防のために学校および競技団体などで懲戒された者や性犯罪処罰経験者などのスケート場使用許可を制限できる規定を用意するよう勧告した。

人権委は一部受け入れた江陵市と城南市、返信をしなかったソウル市、議政府市、光州市、果川市など計 7 つの自治体も事実上受け入れなかったと判断した。

一方、13 の自治体は勧告により性犯罪処罰経歴者などのスケート場使用許可を制限する規定を設け、公共体育施設を公正に開放する案を設けると明らかにした。

一部の委員は「受け入れないとして整理して終了するよりは趣旨を生かす方法が必要だ」という意見を出したが、他の委員は「履行計画を通報するよう法に規定されているのに、どんな根拠で通知しないのか残念だ」と発言した。

大韓スケート競技連盟は勧告によりスケート種目人権状況改善のための総合対策を設けると返信した。また、規定を改善して指導者の資格基準を強化し、スケート種目学生選手の健康権と休憩権を保護するガイドラインも作ると答えた。

出典：<https://www.news1.kr/articles/?4497794>

## 04 ソウル新聞 2021. 11. 17

### 「性転換選手ホルモンの数値基準なくす」... IOC 新勧告発表



法的拘束力はない...各競技団体が自主的に基準を決定

国際オリンピック委員会（IOC）が男性から女性に性転換した選手たちの国際大会出場資格条件で男性ホルモンの数値基準をなくすよう勧告した。

IOCは16日（現地時間）、性転換選手と性発達差が異なる選手を対象とした新しい勧告案を発表した。

手術→男性ホルモンの数値など基準がますます緩和

IOCは2004年5月、「ストックホルム合意」を通じて性転換手術を受けた選手のオリンピック出場を許可した。

性転換手術の可否、変わった性別の法的認定、少なくとも2年間のホルモン治療などの要件が付いたが、性転換選手の国際スポーツ大会出場を初めて許可する決定だった。

競争の公平性に対する問題提起もあった。特に男性から女性に性転換した場合、筋肉の発達などの側面で有利であるという指摘だった。

しかし、スポーツにおいて生まれた生物学的性だけで機会を制限してはならないという声が力を得ながら、性転換選手のスポーツ大会出場許可に道が開かれた。

2015年には「性転換手術を受けなければならない」という条件が消え、代わりに男性ホルモンであるテストステロン血中濃度を新しい条件とした。

高いテストステロンレベルが女性選手の競技力に影響を与えるため、男性から女性に性転換した選手の場合、他の選手との公平性のレベルでこれを制御し、一定濃度以下に維持しなければならないという基準を設けたのだ。

「ホルモンの数値だけをもって競技力予断できない...」健康問題も

しかし、競技力に関して他の要素の制限なしにテストステロンの数値だけをもって競技成績への影響を判断するのは飛躍だという反論も提起された。

IOCはこの日、ブリーフィングと仮定の質疑応答を通じて、既存の指針に対する問題提起が一理あると認めた。

IOCは「女性が競技に出るためにホルモンの数値を調整する過程で健康に深刻な悪影響を及ぼす可能性がある」と明らかにした。

IOCは最近2年間、250人以上の選手および人権団体、LGBT関連の専門家および科学者たちと議論を経た末に新しい勧告案を設けた。

新しい勧告案は▲包容▲被害防止▲非差別など 10 の原則を基に設けられ、2022 北京冬季オリンピックが終わった後に適用される予定だ。

### 性転換選手、新しい勧告を歓迎

ただし IOC は今回の勧告案が法的な拘束力はないと明らかにした。

性転換選手の出場資格をどのように決めるかは、各競技団体が自主的に決定できるということだ。

各競技団体が公正かつ安全な競争に必要だと判断した場合、性転換女子選手の出場に依然一定の制限を置くことができるようにしたのだ。

IOC の新しい勧告で、性転換選手は歓迎の意志を示した。

トライアスロン 2 種競技世界選手権大会に米国代表チーム史上初の性転換選手として出場したクリス・モジェは、「IOC の新しい勧告案は、どの選手も固有の利点を持っていないことを明らかにした。テストステロンの数値に焦点を当てた出場資格基準は危害と虐待的要素がある性別検査を引き起こした」と Twitter に書いた。

カナダ女子サッカー代表チームとして 2020 東京オリンピックに参加して金メダルを獲得した性転換選手クイーンも IOC の新しい勧告案に対して「画期的」と賛辞を送った。



「先天的男性ホルモン」女子選手論争も…陸上連盟「指針変えない」  
オリンピック金メダル 2 個（2012 年ロンドン・2016 年リオデジャネイロ）を獲得した南アフリカ共和国の女子陸上中長距離選手キャスターセメンヤは、東京オリンピックで主種目の 800m に出場できなかった。  
セメンヤは女性として育ったが、先天的にテストステロンの数値が高い状態だ。

世界陸上連盟が 400m、400m ハードル、800m、1,500m、1 マイル（1.62 km）などの種目にテストステロン数値が競技力に影響を及ぼし、出場要件にテストステロン数値基準を定めている。

セメンヤはテストステロンの数値を下げる施術を拒否し、世界陸上連盟とこれについて法的争いを続けている。

一般女性のテストステロン値は 0.12~1.79n mol/L(ナノモール)、男性の数値は 7.7~29.4n mol/L である。

世界陸上連盟が定めた出場基準は 5n mol/L 以下だ。

セメンヤ以外にもナミビアのクリスティン・ムボマも女性として生まれ生きてきたが、先天的にテストステロンの数値が一般女性より 3 倍以上高い。

ムボマは 2020 東京オリンピックで 200m 種目に出場して銀メダルを獲得した。

新しい勧告案を世界陸上連盟が受け入れれば、セメンヤはホルモンの数値を下げる施術を受けなくても、オリンピックで望む種目に出場できる道が開かれる。

しかし世界陸上連盟は、英国日刊紙ガーディアンの質疑にテストステロンに関する現指針を変える計画はないと明らかにした。

出典：[https://www.seoul.co.kr/news/newsView.php?id=20211117500092&wlog\\_tag3=naver](https://www.seoul.co.kr/news/newsView.php?id=20211117500092&wlog_tag3=naver)

## 補助金数千万ウォンを横領して違法賭博

### …30代体育会職員 2審でも実刑



補助金数千万ウォンを横領して不法スポーツ賭博資金に使った疑いで起訴され、1審で懲役2年6ヶ月を宣告された30代体育会職員が2審で減刑された。

春川支法第1刑事部(金チョンミ部長判事)は、業務上横領・詐欺・窃盗などの疑いで起訴されたA氏(38)の控訴審で、原審判決(懲役2年6ヶ月)

を破棄して懲役2年を宣告したと19日明らかにした。

同内のある地域体育会の職員であるA氏は、昨年1月から12月末まで自治体から受け取った補助金を管理する業務を担当した。

A氏は昨年6月10日、ある食堂で補助金以外の用途で食事費用8万1000ウォンを使ったことをはじめ、同年12月15日まで57回にわたって合計7900万ウォンの補助金を勝手に使用したり、一部を引き出し、自分と自分の母親の口座に振り込み、個人的な用途に使った。

この犯行のためにA氏は体育会名義の出金伝票を繰り返し偽造・行使し、同僚職員が管理する他の通帳を盗み1200万ウォンを補助金管理口座に振り替え、横領した金額を補充した。

またA氏は昨年3月から今年1月まで529回にわたって合計1億2852万ウォンを不法スポーツギャンブルサイトに入金した後、ギャンブルをした疑いもある。

A氏は2019年に詐欺罪で罰金刑処罰を受け、2016年には窃盗犯行で起訴猶予処分を受けた前歴があると調査された。

1審裁判部は「被告人は補助金を数ヶ月にわたって不法スポーツトギャンブル資金など個人用途に消費し、この過程で体育会名義の出金伝票を繰り返し偽造・行使した」とし「体育会に対する被害回復は全く行われなかった」と懲役2年6ヶ月を宣告した。

この判決に不服なA氏は「原審の刑が重すぎて不当だ」と控訴した。

2審裁判部は「被告人の犯行で管内の小学校と中学校に運動器具と訓練費を支給する事業が正常に運営できない結果が発生し、有形・無形の被害が決して少なくない」とし「ただし被告人が犯行一切を認めており、量刑の条件となるすべての事情を総合してみると、原審の刑は多少重くて不当だと認められる」と懲役2年を宣告した。

出典：<https://www.news1.kr/articles/?4498645>

## 06 週間スポーツ関連ニュース

仁川市障害者体育会所属障害者の水泳選手を暴行したコーチ拘束

[https://www.ytn.co.kr/ln/0103\\_202111161853470691](https://www.ytn.co.kr/ln/0103_202111161853470691)

詐欺・窃盗前科の体育会職員、数千万ウォン「補助金横領」賭博つぎ込み

<https://view.asiae.co.kr/article/2021112015404251222>

「大韓航空卓球チーム嫌がらせ事件」懲戒1ヶ月「呑気な文体部・大韓体育会」…被害選手だけ「もどかしい」

<https://www.asiatime.co.kr/article/20211119500142>

高まった体育界の地位、落ち続ける倫理意識

<http://www.dailysportshankook.co.kr/news/articleView.html?idxno=249211>

金ドギョン会長「スポーツ ESG、選択ではなく必須」

<http://www.sporbiz.co.kr/news/articleView.html?idxno=602370>

バイデン、来年北京オリンピック「外交的ボイコット」の可能性を示唆

<https://www.joongang.co.kr/article/25025357>

済州障害者体育発展フォーラム、障害者体育人人権セミナー開催

<http://www.mediajeju.com/news/articleView.html?idxno=333850>

「体育界人権増進」京畿道スポーツ革新諮問団公式発足

<https://sports.chosun.com/news/ntype.htm?id=202111220100162880010875&servicedate=20211121>

スポーツ人権研究所、スポーツ人権フォーラム開催「スポーツと性平等」

<http://osen.mt.co.kr/article/G1111696860>

## 体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。

私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と  
福祉実現のために努力しています。  
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための  
体育市民連帯活動に強固な土台となります。  
体育市民連帯会員として力になろうと  
される方は下の口座に後援をお願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

### INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com

週刊ニュースレターバックナンバー（資料室） <http://www.yg.jp.org/sportscm/index.html>